

兵庫県防衛協会 顧問

平成29年新春メッセージ ～ 兵庫の未来を切り拓く ～

新年あけましておめでとうございます。近年の世界協調の流れが、今年、大きく変わる可能性があります。特にアメリカの新体制の動きやイギリスのEU離脱交渉、原油等資源価格の動向、これらに伴う為替の不安定化などが懸念されます。先行きの不透明感が高まる中、いかなる情勢の変化にも対応できるよう、足元を固めなければなりません。

国内では、少子高齢化に対応した社会システムの構築が待ったなしの課題です。日本全体の活力を低下させる東京一極集中にも歯止めをかける必要があります。人口が減少し、少子高齢化が進もうとも、安定し、活力を保ち続ける地域を創っていかねばなりません。地域創生の取組を軌道に乗せていくことが今年の県政の大きな課題です。

第一は、安全安心の確保。福祉、医療の更なる充実により、2025年問題に挑み、安心して暮らし続けられる地域を創りましょう。防災・減災対策を着実に推進し、来るべき災害への備えに万全を期しましょう。

第二は、県民の活躍促進。高齢者、障害者、女性、若者などすべての県民が能力を発揮できる環境を整えるとともに、教育の質を高め、ふるさと人材の確保を進めましょう。

第三は、産業の活力増進。更なる企業集積に取り組み、新事業展開や起業を後押ししましょう。また、農林水産業を成長産業と位置づけ、イノベーションを興しましょう。

第四は、交流の拡大。交流人口の増加で地域に賑わいを生み出しましょう。兵庫五国の多様な資源に磨きをかけ、国内外から人が集う地域を創りましょう。

1868年の兵庫県発足から150年の節目の年が近づいてきました。

今こそ、これまでの兵庫の歩みを振り返り、次の一步の足がかりとなる新たなビジョンを描くときです。そして、県民の皆さんの夢と地域への思いを結集し、兵庫の未来を切り拓く。さあ、新しい地域づくりのステージへ、ともに一步を踏み出しましょう。

ふるさとの 発展めざす 地域づくり 一人ひとりの 決意に依らん

兵庫県防衛協会 会長

そのような状況の中で、自衛隊に対する国民の期待と信頼は日々高まってきております。我々兵庫県防衛協会は、防衛思想の普及・高揚に尽力し、自衛隊の良き理解者として自衛隊に対する支援・協力活動を一層充実させていきたいと考えています。

平素は当協会の活動に対しご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。さて、現下の世界の安全保障環境は、テロの脅威など多様な事態が生起する中、関係国の指導者の交代等により、今後の状況によっては我が国との関係に大きく影響を与えるなど、予断を許さない状況にあります。

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましてはご家族とともども健康やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭の辞



川崎重工工業株式会社 相談役 大橋 忠晴

防衛省自衛隊

そのような中、我が国が今後も平和で安全であり続けるためには我々地方協力本部の役割は益々重大となっております。本年も自衛隊の任務遂行の基盤である人的基盤を確実に維持すべく、募集・援護・予備自等の各種目標を確実に達成するとともに、国民保護・広報の各種役割を果たして参る所存です。

加えて、昨年は我が国において熊本地震や鳥取地震への対応がありました。今後、南海トラフ地震や大規模な風水害等に備えることが求められています。国外ではUNMISをはじめとする国際平和協力活動等のため部隊を継続して派遣することが求められています。

兵庫県の皆様、新年あけましておめでとうございます。皆様には希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、旧年中自衛隊兵庫地方協力本部に対し賜りました御厚誼に深く御礼申し上げます。

新春のご挨拶



自衛隊兵庫地方協力本部 本部長 六車 昌晃



- ① 年頭の辞
- ② 中部方面隊創隊56周年記念行事参加
- ③ 支部等の活動
- ④ 兵庫地方協力本部だより

発行 兵庫県防衛協会
電話 078-261-9780
印刷 コペルコビジネスサポート

謹賀新年

輝かしい新春を迎え、謹んで皆様のご清福をおよるこび申し上げます。

本年も引き続きご愛読いただきますようお願い申し上げます。

中部方面隊創隊56周年記念行事参加

10月9日、兵庫県防衛協会は陸上自衛隊伊丹駐屯地(伊丹市)において実施された「中部方面隊創隊56周年記念行事」に共催した。

当日は、防衛協会の会員を始め多くの方が訪れ、過去最高となる2万人の来場者で賑わった。行事は、感謝状の贈呈式や記念式典、訓練展示などが行われた。記念式典では、観閲部隊指揮官(第3師団副師団長)の指揮のもと、一糸乱れぬ統制の取れた姿が披露された。

記念式典に引き続き、観閲行進が行われ、人員約900名、車両約150両、航空機8機が参加し迫力ある行進が行われた。行進終了後の訓練展示では、隊員約180名、74式戦車、野戦砲FH70など多数の職種部隊が参加して、空砲射撃などが実戦さながら

らに行われ、総合戦闘力の一場面が披露され、自衛隊の錬度の高さを感じることができた。

式典等の終了後、防衛基盤を支える防衛協会を始めとする様々な協力団体等の会長や役員が出席し、祝賀会が行われた。始めに中部方面総監から挨拶があり、協賛団体等への謝辞が述べられた後、中部方面隊管内の2府19県から出席している自衛隊地方協力本部長が紹介され、募集に対する紹介が行われた。その後、会長代理出席の中林常任理事など各協力団体の長と自衛隊の代表者による鏡開きが行われた。

鏡開き後、第3師団長の乾杯が行われた。祝賀会では幹部自衛官等と日本防衛等について語り合う懇親の場となった。

祝賀会の最後には協賛団体を代表して兵庫県防衛協会が万歳の指名を受け、会長代理として中林常任理事が「中部方面隊創隊56周年誠におめでとうございませう。我々防衛協会等が、良き理解者となり、より良い活動ができるよう更なる協力関係を築くことが大事だと思っております。」と挨拶を行います。中部方面隊の発展を祈念し、万歳三唱を行い盛会の内に滞りなく終了した。



中林常任理事が参加した鏡開



祝賀会の万歳三唱で挨拶する中林常任理事

自衛隊兵庫地本記念行事

12月3日、神戸北野プラザ六甲荘において、自衛隊兵庫地方協力本部創設60周年記念行事が開催された。

記念行事に先立ち関係協力会連絡協議会及び自衛隊兵庫地方協力本部長感謝状贈呈が行われた。感謝状贈呈では兵庫県防衛協会から、一般功労として神戸監事、青年部会川岸副会長が受賞した。その後、祝賀会食が開催され、自衛隊兵庫地方協力本部長より、防衛省自衛隊への協力に対する謝辞と今後の協力態勢のお願いをされた。続いて協力団体を代表して兵庫県隊友会能谷会長の挨拶、次に兵庫県防衛協会を代表して青年部清水水会長が60周年の祝辞などの乾杯の挨拶を行い和んだ雰囲気祝賀会は始まった。

祝賀会食では自衛隊と他協力団体と、現在の情勢などを中心に意見交換が行われた。祝賀会食の最後に兵庫県自衛隊父兄会会長代理の村上副会長(現 兵庫県自衛隊家族会会長)が

「万歳三唱」を行い行事は終了した。



祝賀会で乾杯をする清水青年部会会長

ど3万人近い多くの来場者が訪れた。前段は各種装備品の優れた能力を公開する演習となり、後段は、陸・海・空自衛隊統合による作戦により我が国の島嶼部に対する攻撃への対応というシナリオで行われた。

演習は、予定の内容で進んだが、残り数分のところで大雨になり、一部見学できない内容もあったが、真近に見られた迫力ある戦車や火砲の射撃及びヘリコプターなど多くの航空機の展示には、その迫力に驚きを見せるとともに感激に酔いしれた。参加会員は、自衛隊のレベルの高さと素晴らしい実感することができ、貴重な体験が出来た研修となった。

今年度の演習は人員約2400名、戦車・装甲車約80両、各種火砲約60門、航空機約20機、その他車両約700両が参加して行われ、招待者な



迫力ある戦車の射撃を見学

浜松基地航空祭研修

10月16日に兵庫県防衛協会は航空自衛隊浜松基地航空祭を研修した。浜松基地は航空自衛隊の発祥の地という事もあり、例年多くの来場者がある。当日は早朝6時30分に神戸を出発し、11時頃基地に到着した。

到着後は、秋晴れで絶好の天候に恵まれる中で、全員による記念撮影を行い、その後は参加会員の各計画で航空機の飛行展示、地上展示や音楽演奏の見学などを行った。研修の最後となるブルーインパルスの展示飛行が始まると、ハイレベルな演技と青い空に映える機体に、大歓声があがり、予定されていた演技時間はあつという間に終了し、来場の13万5千人を魅了した。



基地内で参加会員全員による記念撮影

支部等の活動

善通寺駐屯地見学

11月4日、兵庫県防衛協会東播支部は平成28年度東播支部部隊研修を陸上自衛隊善通寺駐屯地で行った。

研修には東播支部長を始めとする役員が中心で14名が参加した。到着後、第14旅団司令官前で記念撮影を行いその後、概要説明、駐屯地内の施設見学及び乃木館の見学を行った。概要説明では、副旅団長から第14旅団及び善通寺駐屯地についての説明を受けた。その後の施設見学は、整備工場や訓練場などの説明を受けた。

最後に、駐屯地広報の女性自衛官の案内で乃木館を見学し、満足いく見学となり防衛意識を向上させた。



丁寧な説明を受けた乃木館見学

明野駐屯地航空祭研修



明野駐屯地正門で全員による記念撮影

10月2日、兵庫県防衛協会尼崎支部は平成28年度尼崎支部部隊研修として陸上自衛隊明野駐屯地航空祭を研修した。

研修には尼崎支部長を始め、尼崎会員20名が参加して行われた。当日は、天候に少し不安はあったが、予定通り午前8時に阪神尼崎駅に集合し、観光バスで移動した。駐屯地へは11時頃到着し、駐屯地の正門前で参加者全員の集合写真を撮影した後、それぞれが見学場所へ向かった。

見学内容は航空機の飛行展示及び地上展示が中心で行われた。中でも明野駐屯地でしか見ることが出来ないヘ

リコプターの飛行展示、通称明野レインボーなどの飛行展示で来場者を魅了した。そのほかヘリコプターを中心とする多くの航空機が地上展示されおり見学者を喜ばせ、予定時間があつという間に過ぎる充実した研修となった。

近畿地区青年部会和歌山大会

10月29日近畿地区防衛協会青年部会連絡協議会第11回青年研修大会和歌山大会が行われ、兵庫県防衛協会青年部会からも20名の会員が参加した。

今回の大会は、1日で行われ午前中、部隊研修午後から和歌山市内のホテルで決起集会及び記念講演が行われた。

記念講演では元西部方面総監番匠幸一朗氏の講演を公聴し、その後は、自衛隊から参加している各部隊長や近畿各地から参加している各府県の会員の方々の懇親を深めることができた。

全国青年部会神奈川研修大会

11月18日及び19

日に全国防衛協会青年部会研修大会神奈川大会が神奈川県海老名市で開催された。

今回の大会は初日に、会長会議、大会式典、演奏会、講演会、懇親会と盛り沢山の内容で行われた。大会式典では会長挨拶及び主管会長の挨拶の他活動状況などが報告された。演奏会はバイオリンスト

と東部方面音楽隊の演奏が聞かれ特にバイオリンの生演奏の音色に心を奪われるように聞き入っていた。演奏会後は、講演会が行われ講師として、防衛大学校長國分良成氏（今後の日中関係における自衛隊のあり方、それに伴う防衛協会の関わり方）を公聴した。最後は東部方面総監を初め多くの自衛隊の方々及び国会議員との懇親を深めた。



海老名市での大会式典

2日目は、天候が悪く中ではあったが、海老名からバスで移動し、部隊研修として防衛大学校開校祭及び海上自衛隊横須賀基地で艦艇を見学し15時頃全ての行事を終え神奈川大会は終了した。



2日目の横須賀基地で護衛艦見学

青年部会勉強会

12月14日兵庫県防衛協会青年部会では年末勉強会として神戸防災合同庁舎で行った。

今回の勉強会は、自衛隊兵庫地方協力本部六車本部長に講演を依頼し「阪神淡路大震災の概要とエピソード」を演題に約1時間の講演を行っていた。講演では、六車本部長は、阪神淡路大震災や東日本大震災で直接現場で活動されており、自ら経験された体験

談などを含めたお話が聞かれ、参加会員の中には涙する場面もあり、普段聞く事が出来ない貴重なお話を聞くことが出来た。

講演終了後は、場所を三宮に移動させ、会員37名と兵庫地本9名が参加して意見交換会が行われ、連携を図る貴重な場となった。



自衛隊兵庫地方協力本部長の講演

その他の活動

10月3日、神戸国際展示場神戸市で開催された平成28年度第2回阪神地区合同企業説明会（主催：自衛隊援護協会大阪支部）が開催された。

本説明会は、大阪、兵庫、奈良、和歌山の各府県に再就職を希望する任期満了等退職予定者の早期の再就職援

護を図ることが目的で年2回実施されている。当日は、全国各地から陸・海・空の自衛官194人が参加、阪神地区所在企業等169社が参加した。

防衛協会としても隊員の援護には協力する計画になっており、今回は中林常任理事が会場に現状確認として見学に訪れた。会場では自衛隊兵庫地方協力本部長と懇談した後、援護担当者の案内で会場内を見学した。



説明会場を見学する中林常任理事

お知らせ

イベント情報について
イベント情報等は自衛隊兵庫地方協力本部のホームページ等でご確認ください。
078(261)9780
平成29年度定期総会について
6月2日(金) 楠公会館にて実施する予定です。ご案内は4月下旬予定です。

兵庫地方協力本部
だより

自衛官を募集し
ております。
詳しくは自衛隊兵
庫地方協力本部ま
でお問い合わせ
下さい。

TEL : 078-261-8600

予備自衛官補訓練開始式

8月1日(月) 中部方面混成団第109教育大隊(大津)で実施された、予備自衛官補の訓練開始式に参加し、兵庫地本管理の予備自衛官補15名を激励した。

訓練開始式は、予備自衛官補119名で執り行われ、これからの訓練に対する意気込みが感じられた。



意気込みが感じられる開始式

カッコイイ自衛官写真展開催
8月5日(金)から8月16日(火)の12日間

神戸市三宮センタープラザの三宮インフォメーションギャラリーにおいて、「カッコイイ自衛官展」として写真展を開催した。本写真展は、自衛隊の魅力発信する場として、自衛官が活躍する様子を中心とした写真を展示したものである。期間中は多くの来場者があり、約1750名に達した。



神戸市三宮センタープラザで写真展

掃海艇体験航海実施

8月25日(木)、海上自衛隊阪神基地隊において実施された掃海艇「つものしま」の体験航海に参加した。当日は晴天に恵まれ、穏やかな波の中、参加者約50名を乗せた艦は定時に出航した。航海中は、装備品の説明を受けたったり操舵室や艦内各所を見学したりと、充実した内容であった。



晴天の中で掃海艇体験航海を実施

防災実践講座で訓練展示

9月8日(木)「人と未来防災センター」において兵庫県立大学の防災実践講座を支援した。本件は講義と実技の2部で構成され、約20名の学生が参加した。

前半の講義は、被災時の注意事項から日頃の準備等について講義を行い、後半は屋外で人命救助セットを使用した「要救助者捜索」訓練を支援した。展示訓練中、学生は真剣な眼差しでその訓練に見入っていた。



大学生に対して体験型の防災講座

高校の環境防災科で講話

9月26日(月) 日本で最初に防災学科を取り入れている県立舞子高校の依頼により、1学年40名に対し防災講話を実施した。

同学年は、全生徒が熊本地震被災地へのボランティア活動に参加した経験をもっており、関心の高さがうかがえた。

講演は同本部渉外広報室長が講師を務め、阪神・淡路大震災及び東日本大震災における災害救助活動の実績から、被災時に役立つ事項や役割分担について身近な事象を列挙し、生徒達が理解し易い説明に努めていた。



高校の環境防災科で防災講話実施

高校生による生活体験

10月17日(月) 伊丹駐屯地において西宮甲英

高等学院の1・2年生12名に対する生活体験を実施した。

生徒達は、基本教練に始まりロープワークを体験した後、車両整備工場や通信関連施設において各器材等の機能について説明を受け、昼の体験喫食で生活体験を終えた。

生徒からは「自衛隊は色々な仕事をしている職場なんだ」、「自衛隊に興味を持った。」などの声が多く聞けた。



高校生が伊丹駐屯地で生活体験

中学校のトライやる支援

11月7日(月)〜11日(金)の間、中学生の職業体験「トライやる」を支援し、21名の中学生を受入れた。

職業体験として、阪神基地隊でクルージングや掃海艇見学、千僧駐屯地及び青野原駐屯地では防災教育や徒步行進などを

行い参加生徒は一生懸命取り組んでいた。また、千僧駐屯地では音楽隊とのセッションも行われ、充実した5日間の体験となった。



トライやるで音楽隊とのセッション

自治体の防災訓練を支援

11月12日(土) 伊丹市立伊丹小学校において桜ヶ丘自治体総合防災訓練を支援した。

防災訓練には自治会の約100名が参加して自宅を出発して近隣住人の安否確認、避難経路の確認などを行った。

その後、伊丹小学校において伊丹市危機管理室から防災講話を受け、発災時に取るべき行動や備え付けておくべきことを学んでいた。

自衛隊に対する期待度も高く発災時、「どのような支援が受けられるのか」等多数質問を受けた。

将来の選択肢に高校で説明会

11月21日(月) 兵庫県立須磨東高校において職業学習講座を行った。参加したのは職業として自衛隊に興味を示す同校の1年生30名。

自衛隊の概要・任務・職種等について50分間説明、生徒は真剣な眼差しで話を聞いていた。講演後には「自衛隊には様々な仕事があり、とても興味を持った。」という意見が聞かれた。



自治体の防災訓練で写真展示など支援



高校で職業学習講座を実施